工業「染織デザイン」	単位数	３単位
	学科・学年	繊維科・第３学年

1　学習の到達目標等

学習の到達目標	１　形態の原理や理論を身に付け、造形性と審美性の立場に立って繊維製品を見つめることができるよう技能・技術を身に付ける。 ２　各種デザイン作品の制作を通して、美的感受性の伸長を図る。
使用教科書・副教材等	染織デザイン（実教出版）

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	学　習　内　容	月	学　習　の　ね　ら　い	考査範囲
1学期	1　文字のデザイン	4	・字体、デザイン用語、書体について学習する。	期末
		5	・字体視写、拡大視写、書体表現について学習する。	
	2　造形とテキスタイル	6	・造形性、審美性について学習する。	
		7	・デザインの美的秩序について学習する。	
2学期	3　基礎造形	8	・美しく見せるデザインの原則について学習する。	期末
		9	・各種錯視例について学習する。	
		10	・各種表現技法について作品制作を通して学習する。	
	4　テキスタイルパターンの特徴	11	・パターンの表現性について学習する。	
	5　テキスタイルの基本描法	12	・基本描法について作品制作を通して学ぶ。	
3学期	6　感性とデザイン	1 2	・工業デザインについて学習する。	学年末

（2）評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・各種デザイン技法に興味を持ち、作品制作を意欲的に取り組むとともに、創造的、実践的な態度で臨んでいるか。
思考・判断・表現	・デザインの原理について論理的に考え、美しく見せる法則を見いだし、その結果を踏まえて作品制作に応用できているか。 ・作品のデザインコンセプトを適切な言葉で表現し、誰にでも分かるように説明できるか。
技　能	・さまざまなデザイン技法を効果的に活用できる技能を身に付け、問題解決ができているか。目的に応じたデザインを適切に表現するための基礎的な技能を習得しているか。
知　識　・　理　解	・文字デザイン、美しく見せるデザインの原則、錯視の基本、パターン表現の基本的な仕組みを理解し、効果的に活用するための論理的な考え方や技法を身に付けているか。
・成績評価は、定期考査及び提出物（ノート、プリント、課題、作品など）を基本として、上記４つの観点を含めた平常の学習活動・学習態度、作品制作の実施状況、出席状況などにより総合的に評価する。 ・学年末の成績は、第１・２・３学期の評価をもとに総合的に判断して評価する。	

3　確かな学力を身に付けるためのアドバイス

・教科書や参考資料を用いながら授業を進めていきます。基本的な内容を学習し、作品制作を通してデザインについて理解を深めます。実技を伴う科目ですが、デザインの基本的内容の定期考査を実施するので、しっかりと学習に取り組みましょう。作品制作は、製図の力が必要になります。２年次の「製図」をしっかり学習してください。また、製図道具が必要です。